

『腰椎骨密度検査における椎体高位の検討』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	骨粗鬆症診療において、DXA (Dual-energy X-ray Absorptiometry : 二重エネルギーエックス線吸収測定) 法を用いた検査で腰椎の骨密度を計測することは必要不可欠な検査となっています。その方法はガイドライン上、「腰椎のL2-L4またはL1-L4の領域を使用する」とありますが、今回はその両者の適性を比較し、測定方法について再考することでより信頼性の高い検査につなげることが目的となります。
研究の方法	当院でDXAを受けた患者さんの、腰椎骨密度情報について調査します。 また、L1-L4、L2-L4領域の骨密度の差が大きかった方について、原因や画像について検討を行います。
対象者	当院にて2022年3月1日～2023年2月28日の間に、DXA法による骨密度検査を受けた50歳以上80歳以下の女性の患者さんとなります。
利用する試料/情報	情報等：年齢、性別、骨密度、腰椎単純エックス線画像
利用する試料/情報の取得方法	診療録等より
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	第25回日本骨粗鬆症学会で発表予定。
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合は、西暦2023年9月20日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 放射線部 / 診療放射線技師 / 平野 智貴
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000 済生会横浜市東部病院 放射線部 / 平野 智貴